

2020年度 競技会運営の共通事項（基本方針）

—新型コロナウイルス感染防止策を踏まえた申し併せ事項—

熊本陸上競技協会

1 保護者の参加について

- ① 保護者の参加は、レベル4の状況では、エントリー数の50%までとする。
レベル4の状況でも、感染者数が増加した場合は、無観客での実施も考えられる。
レベル2などへの引き下げがあれば、100%での実施も考えられる。
- ② 健康観察カードの義務付け
競技会1週間前から検温し、所定の用紙に記録する。
健康観察カードは、競技会当日、受付に学校ごとにまとめて提出する。
競技会が2日間にわたる場合は、1日目帰るときにカード受け取る。
2日目も同じように体温を記入し受付に提出する。
競技会終了後は、熊本陸上競技協会にて保管する。
- ③ 競技会終了後、2週間の検温を義務付ける。
異常があれば、ガイドラインに沿った対応を行う。
2週間終了後は、各学校で保管する。
- ④ 保護者で参加予定の方の名前等、事前にチーム責任者は把握しておく。
申込時に参加人数も届けてもらいますので、その数に応じてIDを発行する。
IDの貸し借りは、禁止する。

2 監督・コーチ・顧問・選手および部員

- ① 監督・コーチも、競技会1週間前から検温し、健康観察カードに記録する。
健康観察カードは、選手の分と一緒にして、チーム責任者が管理する。
- ② 監督・コーチもIDを発行する。
申込時に参加人数も届けてもらいますので、その数に応じてIDを発行する。
- ③ 競技会終了後、2週間の検温を義務付ける。
異常があれば、ガイドラインに沿った対応を行う。

3 その他

- ① IDは、貸与するので、帰宅時に返却すること。
- ② 選手は、学校ユニホームをIDの代わりにする。